

令和4年度 決算状況					人口 平成27年国調 増減率	面積 343.66 km <sup>2</sup>	人口密度 20人	区分	住民基本台帳人口 6,775人 7,360人 -7.9%	うち日本人 6,738人 6,824人 -1.3%	産業構造			都道府県名 団体名		市町村類型	Ⅱ－〇			
歳入の状況（単位：千円・％）								令5.1.1 令4.1.1 増減率	6,771人 6,843人 -1.1%	6,738人 6,824人 -1.3%	区分	令和2年国調	平成27年国調	01 北海道	5644 大空町	地方交付税種地	2－1			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	第1次	1,361 39.3	1,524 40.3													
					第2次	358 10.3	427 11.3													
											第3次	1,747 50.4	1,833 48.4	区分	令和4年度（千円）	令和3年度（千円）				
地方	1,071,158	8.9	1,071,158	20.2	市町村税の状況（単位：千円・％）	指 の 指 定 団 体 等 の 指 定 状 況	収 入 済 額	構 成 比	超 過 課 税 分	旧 新 産 × 旧 工 特 × 低 開 発 ○ 旧 産 炭 × 山 振 振 × 過 疎 ○ 首 都 × 近 畿 × 中 部 × 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳 入 総 額 11,988,760 歳 入 歳 出 差 引 11,735,044 翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 33,965 実 質 年 度 収 支 219,751 単 積 立 金 取 崩 し 額 24,396 繰 上 償 還 金 383 積 立 金 取 崩 し 額 - 実 質 単 年 度 収 支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 24,779	9,690,631 9,490,121 200,510 5,155 195,355 10,195 233 - - 10,428							
地方譲与税	236,101	2.0	236,101	4.4										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
配当割交付金	2,878	0.0	2,878	0.1										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
株式等譲渡所得割交付金	2,329	0.0	2,329	0.0										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
分離課税所得割交付金	-	-	-	-										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
地方消費税交付金	188,742	1.6	188,742	3.6										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
ゴルフ場利用税交付金	3,513	0.0	3,513	0.1										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
特別地方消費税交付金	-	-	-	-										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
自動車取得税交付金	-	-	-	-										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
軽油引取税交付金	-	-	-	-										区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428
自動車税環境性能割交付金	16,229	0.1	16,229	0.3	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
法人事業税交付金	13,121	0.1	13,121	0.2	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
地方特例交付金等	3,880	0.0	3,880	0.1	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
内個人住民税減収補填特例交付金	3,880	0.0	3,880	0.1	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	-	-	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
地方交付税	4,080,203	34.0	3,762,125	70.9	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
内普通交付税	3,762,125	31.4	3,762,125	70.9	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
内特別交付税	318,078	2.7	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
内震災復興特別交付税	-	-	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
（一般財源計）	5,618,545	46.9	5,300,467	99.9	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
交通安全対策特別交付金	1,169	0.0	1,169	0.0	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
分担金・負担金	109,448	0.9	4,807	0.1	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
使用料	163,079	1.4	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
手数料	30,910	0.3	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
国庫支出金	1,131,866	9.4	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
国有提供交付金	-	-	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
（特別区財調交付金）	-	-	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
都道府県支出金	1,662,465	13.9	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
財産収入金	81,011	0.7	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
寄附金	146,118	1.2	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰上償還金 383 積立金取崩し額 - 実質単年度収支 24,779	11,988,760 11,735,044 253,716 33,965 219,751 24,396 383 - - 10,428									
繰入金	48,956	0.4	-	-	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発○ 旧産炭× 山振振× 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	歳入総額 11,988,760 歳入歳出差引 11,735,044 翌年度に繰越すべき財源 33,965 実質年度収支 219,751 単積立金取崩し額 24,396 繰										